

特急

かんぱち・いちろく

ゆふ高原線の風土をあじわう列車



2024 4.26 [FRI]

久大本線を彩る、新しいデザインとストーリーのはじまり

博多～由布院・大分・別府

BEPPU
OITA
YUFUIN

2024 4.26 [FRI]
運行開始!

HAKATA

D23031

ご出発期間：2024年4月26日(金)～9月30日(月)



ゆふ高原線の食、人、文化に

地もの・旬ものを使ったお食事や、地元の方々の
快適で洗練された列車のデザインは古民家リノベーションに定評のある鹿児島県のデザイン会社

特急 かんぱち KANPACHI

博多駅を出発し、フルーツや酒蔵で有名な田主丸や八鹿酒造の最寄り駅の恵良駅で
おもてなしを受けながら由布院・大分・別府へ向かいます。

運行ルート:博多→由布院・大分・別府 **月 水 土** 運行 1日1便(片道のみ)



おもてなし駅



田主丸駅
駅舎自体がカッパの形をしている、ユニークな駅。久留米市やKAPATERIAの皆さまによるおもてなしを予定。



恵良駅
駅舎内に麻生家の業績を讀める資料が展示されている先哲史料館があります。九重町・玖珠町や八鹿酒造によるおもてなしをお楽しみください。

■ 運行時刻と停車駅

博多駅 〔乗車駅〕	田主丸駅 〔おもてなし駅〕	恵良駅 〔おもてなし駅〕	由布院駅 〔降車駅〕	大分駅 〔降車駅〕	別府駅 〔降車駅〕
12:19頃発	13:22頃～ (約12分程度)	14:52頃～ (約16分程度)	15:41頃着	16:39頃着	16:59頃着

※各ルートの運行時刻は変更となる場合があります。

福岡の名店が旅を彩る「かんぱち号」お食事

福岡・大分両県の魅力の詰まったお食事をご堪能ください。

月 中洲 松(和食)

「福岡から大分への旅路～
地域の食材を中洲 松のフィルターを通して」



また福岡・大分に来たい、この地を好きになってもらえるよう工夫を凝らしたお料理。
〈オーナー〉松永 新一朗氏

水 味 竹林(和食)

「福岡・大分の旬を感じるコース仕立てのお弁当」



春夏秋冬の旬の食材を慈しみ、柔軟な着想で素材の味を引き出します。
〈店主〉竹林 譲氏

土 FUCHIGAMI(イタリアン)

「～由布岳の季節の色合い×博多の恵み～
かんぱち・いちろく特製お重」



育まれた命を最高のひと皿へ昇華させるイタリアンの名店の味をご賞味ください。
〈シェフ〉淵上 誠剛氏

※お食事の写真はイメージです。今後変更となる場合がございます。

親しむ 新しい列車の旅のカタチ。

「おもてなし」など、旅の醍醐味が味わえる約5時間。
「IFOO」が担当。そして福岡・大分のアーティストたちによる個性的なアートが旅に彩りを添えます。

特急 いちろく ICHIROKU

別府駅を出発し、別府湾を眺めながら大分・由布院を経由し、
天ヶ瀬温泉のある天ヶ瀬駅やフルーツの里うきは駅でのおもてなしを受け、福岡へ向かいます。

運行ルート:別府・大分・由布院→久留米・博多 **火 金 日** 運行 1日1便(片道のみ)



おもてなし駅



天ヶ瀬駅
天ヶ瀬駅の駅前は天ヶ瀬温泉の手湯・足湯があり、お湯につけると文字が浮き出てくる「湯みくじ」も販売しています。日田市や天瀬町の皆さまによるおもてなしを予定。



うきは駅
九州一の大河「筑後川」と「耳納連山」に囲まれた自然と歴史ある町並みが魅力、四季折々のフルーツを楽しめる。うきは市の皆さまによるおもてなしを予定。

■ 運行時刻と停車駅

博多駅 〔降車駅〕	久留米駅 〔降車駅〕	うきは駅 〔おもてなし駅〕	天ヶ瀬駅 〔おもてなし駅〕	由布院駅 〔乗車駅〕	大分駅 〔乗車駅〕	別府駅 〔乗車駅〕
15:47頃着	14:57頃着	13:58頃～ (約20分程度)	13:17頃～ (約9分程度)	12:27頃発	11:22頃発	11:00頃発

※各ルートの運行時刻は変更となる場合があります。

大分の名店が旅を彩る「いちろく号」お食事

大分・福岡両県の魅力の詰まったお食事をご堪能ください。

火 Tomo Clover 大久保食堂(フレンチ)

「BENTO BOX.FUKUOKA-FRANCE-OITA」



ゆふ高原線から眺める景色が育む食材で口福のひとときを。
〈シェフ〉大久保 智尚氏

金 裏舌鼓(和食)

「裏舌鼓のオ.モ.テ.ナ.シ箱」



海から山へ、移ろう車窓の景色と大分の豊かな恵みを列車の風に添えて味わおう。オ.モ.テ.ナ.シ箱。
〈店主〉中国 彰三氏

日 兎と亀(和食)

「列車と人と食材を結ぶ。豊後結び箱」



培ってきた伝統と技で造る豊後の郷土料理。豊後の名産品を列車で味わい、食材に出会い、人に出会うお弁当。
〈店主〉高岡 章氏

※お食事の写真はイメージです。今後変更となる場合がございます。

重厚感のある座り心地を重視したお座席(全席グリーン席)



1・3号車 畳個室

靴を脱いで、ゆったり過ごせる畳の床の個室タイプの座席。左右両方大きな窓に面しており、車窓から沿線の景色を存分に楽しむことができます。



3号車 BOX席

高い仕切りに囲まれた半個室タイプの座席。福岡産の杉を使った大型テーブルを囲んで座り心地の良いソファに向かい合わせに座ることができます。



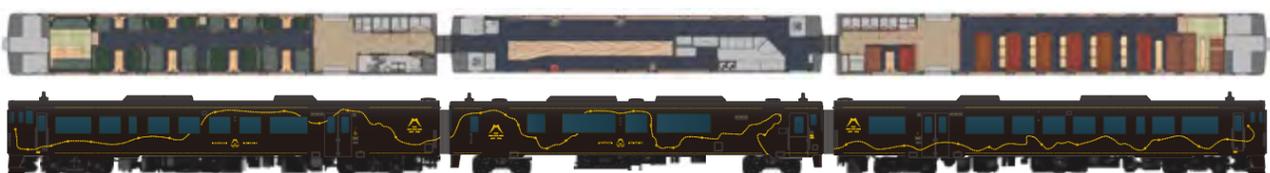
1号車 ソファ席

大分産の杉を使用した大型テーブルと、重厚感のある座り心地の良いソファが配置された席。最大3名まで並んで座ることができます。

畳個室 4~6名
BOX席 1~4名
※1名までご利用の場合は追加料金が必要です。

ラウンジ杉
(共用スペース)

BOX席 3~4名
ソファ席 2~3名
BOX席 5~6名
畳個室 4~6名



←博多・久留米

3号車

沿線の「福岡・久留米」がテーマ。テーマカラーは「青緑」。福岡・久留米の風景や産業をモチーフにした暖簾や、福岡産の杉テーブルを各BOX席に配置。

2号車

沿線の「由布院・日田」がテーマ。樹齢約250年の全長約7.88mの杉1枚板を使用したカウンターテーブルを中心に配置している。

1号車

→由布院・大分・別府

沿線の「別府・大分」がテーマ。テーマカラーは「赤茶」。大分・別府の風景や竹細工をモチーフにした暖簾や、大分産の杉テーブルを各席に配置。

JR九州企画・実施商品 お申し込み・旅行商品のご案内

※お食事と列車がセットになった旅行商品のみでの発売となります。座席のみのご利用はできません。

旅行代金に含まれるもの

「かんぱち・いちろく」乗車(JR券片道)

・(JR券片道)かんぱち号:博多→由布院・大分・別府 いちろく号:別府・大分・由布院→久留米・博多

お食事

・アレルギー対応は行っていません。

お一人様旅行代金(2~6名さま参加の1名あたり)

	大人	子ども
BOX席(2~6名)	18,000円	15,000円
ソファ席(2~3名)	18,000円	15,000円
畳個室(4~6名)	23,000円	19,000円

※ご利用される乗降駅に関わらず、旅行代金は同一金額です。

2名BOX席を1名さまでご利用の場合の追加料金

2名BOX席を1名さまでご利用の場合は、右記の追加料金が必要です。追加料金 10,000円

取消・変更について

旅行契約成立後、お客さまのご都合で契約を解除されるときは、右の金額を取消料として申し受けます。

・ご出発日、ご利用列車、人数、お座席の変更等は一旦取消となり、取消料対象日に当たる場合は取消料が発生します。改めて予約の際、満席でお取りできない場合があります。
・参加者の変更は承りかねます。新たにご参加のお客さま名で予約いただき、ご参加されないお客さまは取消をお願いします。その際、取消料対象日に当たる場合は、取消料が発生します。

ご注意のご案内

- お申し込みについて
お申し込みはご出発の5日前まで承ります。(旅行会社での販売はお申込期限が異なります)
- お子様のご利用について
幼児・乳児:無料 大人または子ども1名につき幼児2名まで同伴可。幼児3名からは子ども料金が必要。※小学生未満のお子さまでお座席を使用になる場合は子ども料金が必要。※お料理内容は、大人・子ども同一となります。
- その他
・お客さまのご都合で行程の一部(JR、コース料理など)を利用されなくても、返金は致しかねます。掲載の情報は、変更及び中止となる場合があります。運行スケジュールの変更及びその他の理由により販売できない場合がございます。服装について特に定められたものはございません。車椅子をご利用のお客さまは、お申込時にお知らせください。

旅行契約の解除期日 (旅行開始日の前日から起算してさかのぼって)	取消料 (日帰り旅行)
①10日目に当たる日以降の解除(②~⑤を除く)	旅行代金の20%
②7日目に当たる日以降の解除(③~⑤を除く)	旅行代金の30%
③旅行開始日の前日の解除	旅行代金の40%
④旅行開始当日の解除	旅行代金の50%
⑤旅行開始後の解除、または無連絡不参加	旅行代金の100%

お申込み

「かんぱち・いちろく」専用ホームページよりお申込みを承ります。

(一部旅行会社でも販売しています) ※駅みどりの窓口での取り扱いはございません

かんぱち・いちろく

検索



※お支払い方法:クレジットカード払い

当パンフレットからのお申込みは承っておりません。「かんぱち・いちろく」専用ホームページにて詳しい旅行条件・旅行代金等をご確認の上、お申込みください。

※JR九州が企画・実施する商品の他に、全国の主な旅行会社にて設定する商品がございます。詳しくは、各旅行会社へお問合せください。

ゆふ高原線の風土をあじわう列車

“風土”すなわち、その土地の気候や地勢、そこから生み出される土地の食や風習、風景を五感で楽しむ列車。



艶のある黒を基調としたデザインで、車体にはゆふ高原線の路線図(久留米駅~大分駅)をモチーフにしたゴールドライン、上下にはゆふ高原線の駅名によるエッジラインが描かれています。車体にゆふ高原線沿線の景色が映り込むことで、車両全体で雄大な風景を表現するようデザインしています。

designed by IFOO イメージ



ラウンジ杉

大きな窓から沿線の景色を望むことのできる2号車ラウンジ。ご乗車のお客さまの共用スペースとしてご自由にお過ごしいただけます。樹齢約250年の杉の一枚板カウンターと日田の底霧をイメージした天井が、落ち着いた洗練された雰囲気をつくります。ピュッフェも兼ね備えており、ゆふ高原線沿線の美味しい食べものや飲みもの、列車のオリジナルグッズなどの販売を予定しています。

イメージ

【車両デザイン】 IFOO 株式会社 IFOO

会社概要

「[温故生新]~時間の中に埋もれた価値に光を当てる~」ことを経営理念とし、地方が掲げる「地方創生(豊かな場づくり)」を、鹿児島県の食・建築文化を通して価値を再委託し発信することを目指すデザイン会社。鹿児島市内では、鹿児島市の仕事、建築文化を五感で感じながら滞在できる高級民泊施設「明葉(ほうげつ)」を運営。 ※株式会社IFOO さまは九州DreamStation にぎわいパートナーです。



Beppu

旅の醍醐味も！
休暇の充足感も！

次の予定を立てたくなくなる列車

「ゆっくりと列車の旅を楽しみたい」「美味しい食事を食べながら列車の旅を楽しみたい」それは常々考えていたこと。そして気負わず実行に移すきっかけを作れたのが、ゆふ高原線を走る新しい列車「かんぱち・いちろく」だ。行き先は何度訪れても癒されリフレッシュできる温泉地、由布院、別府。お昼出発、夕方着(片道のみ)の交互運転で走っているのが予定も立てやすい。早朝からバタバタせずに出掛けられ、おいしいランチからスタートできるというプランも高ポイント。博多から別府まで特急なら2時間ちょっと。でも、出張ではないのだから急ぐ必要はなし。さあ、約5時間の移動を満喫する旅に出かけよう。

ホームでは、黒艶のスタイリッシュな列車がお出迎え。そのシックなルックスに思わず「カッコいい…」と声漏れる。車内へ足を踏み入れると、ちよつとビツクリ。外観の印象とは異なる、いい意味で期待を裏切るナチュラル感に「そう来たか」とワクワクが加速する。車内には日田杉などがたっぷり使われ、パーソナルスペースも守られる半個室感が嬉しいシートも座り心地抜群だ。あちこちにアートが飾られ、まさにラグジュアリーなリビングという雰囲気ぐっど心地いい。くつろげること間違いなしの空間だ。

「かんぱち・いちろく」で見つけた

ゆふ高原線の新しいお楽しみ



Partner KANPACHI-ICHIROKU
“オリジナル日本酒”
八鹿酒造(大分県九重町)
久大本線敷設に貢献した列車名の由来でもある「麻生親八」氏再興の酒蔵。八鹿酒造さまご協力のもと、当列車のためだけにオリジナルの「日本酒」をお作りいただきます。

Partner KANPACHI-ICHIROKU
車内を彩る“アート装飾”
[BEPPU PROJECT]+[Yamaide Art Office]
(大分県別府市)
ゆふ高原線の風土を感じるアートを車内に装飾いたします。別府市を活動拠点の両者がアートディレクションを担当。様々な作家さんが参加しています。

Partner KANPACHI-ICHIROKU
“器(お重)”の製作
トライ・ウッド(大分県日田市)
車内で提供するお食事はオリジナルの“お重”でご提供いたします。日田杉を使用した“お重”の蓋には福岡県の伝統工芸品小石原焼のタイルが使われています。



お楽しみランチは、日田杉製の二段重(スーパークップも日田杉)でやってみる。小石原焼のタイルがのったアートな蓋もオシャレで高まる期待。まるで有名店の松花堂弁当のごとく彩り豊かで、日本酒やワインが飲みたくなってしまう。メニューは福岡・大分の人気店のシェフが日替わりで担当しており、他の曜日のお弁当も気になる。次はランチメニュー目当てで日程を決めてもいいかもしれない。

約5時間の乗車中、停車する「おもてなし駅」が二つあるのもちよつとしたイベント。特産品をお土産にしたり、おやつをいただいたり、地元の方との触れ合いも楽しい。手を振ってお見送りしてくれる姿にグッときます。もうのも旅の醍醐味だ。停車はしないけれど、沿線のビュースポット付近で列車がゆっくり走ってくれるのもバににくい演出。車窓からでもしっかり撮影できるのが嬉しい。

時間を待たせたり、一枚板のカウンターに左倒される2号車ラウンジに移動してビューカフェでお買いもの。コーヒーにしようかビールにしようか悩むのも一興。客室乗務員さんとの会話も弾む。

居心地のいいシートで、ゆふ高原線の美しい風景をぼーっと眺めるもよし、読みかけの本をめくるもよし、自由気ままなステキ時間はあつという間に過ぎていく。充足感を与えてくれる新しいスタイルの列車旅の底力を実感する。さあ、気兼ねない一人旅もいければ、同窓会や女子会で利用しても盛り上がるに違いない。次は誰を誘って乗車しようかな？



Yufuin